

3歳児健康診査『視力検査』について

★ご自宅で視力検査を行い、健康診査票の問診と一緒に結果をご回答ください。

○子どもの視力について

子どもの視力は、乳幼児期（生後～6歳ぐらい）に発達を続け、6歳ごろにほぼ完成します。

生後すぐの赤ちゃん： 視力は、目の前がぼんやりと見える程度

生後3か月： 視力0.002～0.003

生後8か月： 視力0.1程度

その後、どんどん発達し

3歳6か月すぎ： 視力0.7～1.0

4歳： 71%の子が、視力1.0

5歳： 83%の子が、視力1.0

に達すると言われています。もちろん個人差があります。

毎日、物を見ることで、身体の発育とともに、視力もだんだんと発達します。

しかし視力の発達する期間（生後～6歳頃）に、強い屈折異常（遠視、近視、乱視）や斜視があると、視力が発達せず、視力が悪い状態（弱視）のまま発達が止まってしまう。

それらを防ぐには、異常を早く発見し早く治療することがとても大切です。

そのための視力検査になります。



『視力検査』の方法

◇用意するもの

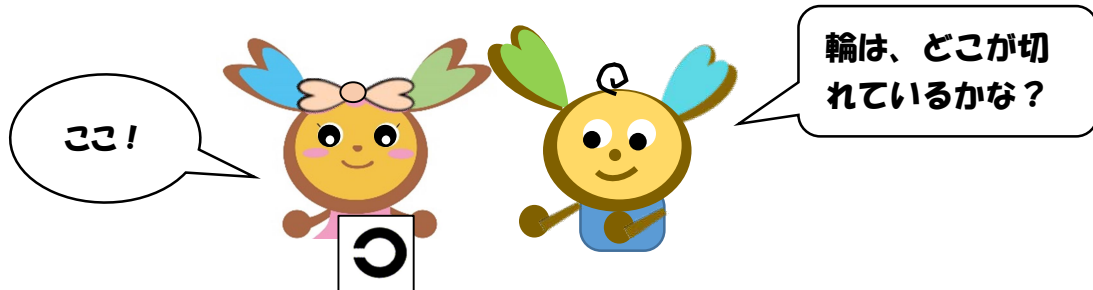
- ①練習用指標(大きい輪)と検査用指標(小さい輪)を切り取り、20cm四方の白い紙に貼ったもの
- ②アイマスク（表がトラ、裏がパンダのもの）に、輪ゴムをつけたもの
- ③メモ用紙（検査結果をメモできるもの）
- ④メジャー（検査時に2.5mの距離を測るため）

◇練習をしましょう

※片方ずつ練習しましょう。アイマスクは、まだつけません。

①お子さんの近くに練習用の指標（大きい輪）を見せて、輪が切れていることを教えます。

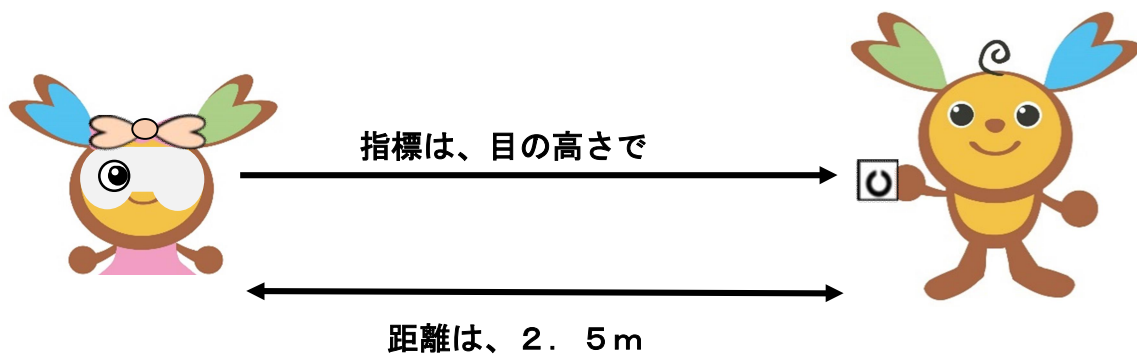
②指標を、『上』『下』『左』『右』の4方向に動かして、輪の切れ目の方向を指か手、または言葉で答えさせます。「輪は、どこが切れているかな？」と聞きましょう。



◇検査をしましょう

※楽に本が読める程度の明るい部屋で、ゆとりをもって楽しい雰囲気で行きましょう。

※検査用指標（小さい輪）をお子さんから、2.5mの距離に離します。



①最初は、両目で検査します。

輪の切れ目を『上』『下』『左』『右』の4方向に動かして、答えさせてください。

②次に、片目ずつ検査をします。

お子さんにアイマスク（表がトラ、裏がパンダのもの）をつけて、右目から行います。

この時に、かくしている目で見ないように、正しくつけて顔をまっすぐにし、正面から見るように気をつけましょう。